2011-12年度の未来の夢用
クラブ・ロータリー
財団委員会の手引き

「クラブ役員キット」の一部

ROTARY INTERNATIONAL®

226E-FV-JA—(910)

2011-12年度の未来の夢計画用の「クラブ・ロータリー財団委員会の手引き」は、クラブ委員会が使用する目的で作成されました。本冊子に掲載されている情報は、「標準ロータリー・クラブ定款」「推奨ロータリー・クラブ細則」「国際ロータリー定款」「国際ロータリー細則」「ロータリー章典」「ロータリー財団章典」に基づいています。厳密な指針については、これらの文書をご参照ください。規定審議会およびRI理事会、あるいはロータリー財団管理委員会で加えられるこれらの資料への変更は、本冊子に記載された方針に取って代わります。

目次

はじめに 1

1 ロータリー財団 3

ロータリー財団の補助金とプログラム 3
ロータリー財団への寄付 9

2 委員会の役割と責務 11

クラブ・ロータリー財団委員長 12
財団に関する会員の理解を深める 13
委員会 14
小委員会 14
目標の設定 15
予算 16
コミュニケーション 16

3 リソース 19

補遺資料 21

「効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標」のロータリー財団のページ 21
クラブの覚書 (MOU) 22
グローバル補助金の業務サイクル 23
地区協議会での討議事項 24

ワークシート 25

まとめ 25
目標 26
行動計画 27
ロータリー財団の補助金 28
クラブ・ロータリー財団委員会の事例研究 29

はじめに

試験地区内のクラブは、新しい補助金モデルを試験的に利用します。未来の夢試験段階（パイロット）の期間中も、ポリオ・プラス、ロータリー平和センター、募金活動、ロータリー財団の各種表彰については、変更はありません。

未来の夢用の「クラブ・ロータリー財団委員会の手引き」は、目標の設定と効果的なクラブづくりに伴う責務を理解する上で、クラブ・ロータリー財団委員会に役立てていただくために作成されました。委員会の責務は国の法律や文化慣習、また各クラブが設けている手続きによって異なるため、クラブのニーズに合わせてこの手引きの内容を応用するようにしてください。本手引きを通じて挿入されている「世界各地から」の欄にはロータリー・クラブの文化的な違いが、また、「お忘れなく」の欄にはクラブ幹事としての役割に役立つヒントが紹介されています。

本手引きは3章から成り立っています。第1章では、委員会の主な責務について説明されています。第2章では、委員長に特有の責務について説明されています。第3章には、委員会に役立つリソースが紹介されています。第3章に続く補遺には、「効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標」のロータリー財団のページ、地区協議会での討論事項、協議会で使用するワークシートが収められています。

ロータリー財団委員会の委員長としての役割に備え、本手引きを活用してください。なお、地区協議会に先立って内容に目を通し、協議会当日も持参してください。特に補遺資料4には、セミナーでの討論に積極的に参加できるよう、事前に検討しておくべき質問が収められています。研修が終了した後も、ほかのクラブ役員ならびに会員と協力していく上で、本手引きを参考資料としてお役立てください。

クラブ・リーダーシップ・プランの下、ロータリー・クラブの管理的枠組みとして、次の常任委員会が推奨されています。

- クラブ管理運営委員会
- 会員増強委員会
- 広報委員会
- 奉仕プロジェクト委員会
- ロータリー財団委員会

お忘れなく

委員長は、委員に責務を十分に把握してもらうため、本手引きの第1章をコピーして配布してください。

それぞれの委員会について手引きが用意されており、各手引きでは委員会の概要と責務が説明されているほか、委員会に役立つリソースが収められています。委員会の委員に関係する情報は、委員に配布または伝達する必要があります。本手引きは、「クラブ役員キット」（225-JA）の一部で、ウェブサイト（www.rotary.org）から無料でダウンロードすることができます。未来の夢計画に関連する情報はすべて、ウェブサイト（www.rotary.org/ja/fvclub）に掲載されています。

委員長就任に向けて、各ロータリー・クラブが国際ロータリーに加盟しているということを忘れないでください。国際ロータリーへの加盟を通じて、クラブは、世界中の33,000以上のロータリー・クラブとつながり、国際ロータリーからの支援とリソース（9カ国語による刊行物、ウェブサイトの情報、ロータリー財団からの補助金、世界本部と国際事務局の職員からの支援など）を利用することができます。

ご意見・ご感想

本手引き、あるいは国際ロータリーの研修資料に関するご意見、ご質問は、下記宛てにお寄せください。

Leadership Education and Training Division
（リーダーシップ教育および研修部）
Rotary International
One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
Eメール：leadership.training@rotary.org
電話：1-847-866-3000
ファックス：1-847-866-9446

第 1 章

ロータリー財団

ロータリー財団は、国際ロータリーの慈善部門で、ロータリアンと支援者による自発的な寄付のみによって支えられています。財団の補助金を通じて、ロータリアンは、「健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成する」という使命のために活動しています。

ロータリー財団の補助金とプログラム

財団が進化と前進を遂げ、その使命を果たしていけるよう、ロータリー財団管理委員会は、未来志向の長期的アプローチである「未来の夢計画」を採択しました。多くのロータリアンからの意見に基づき、未来の夢計画は以下を目的として立案されました。

- 財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化すること。
- ロータリアンが重要だと考える世界の主要なニーズに取り組むことによって、最大の成果が期待できる奉仕活動に焦点を絞ること。
- 世界的目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供すること。
- 意思決定権をさらに地区に移行することによって、地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること。
- ロータリー財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めること。

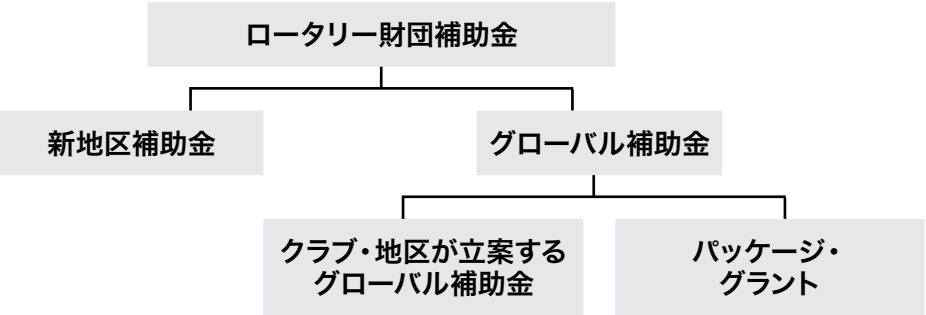
お忘れなく

未来の夢計画に関するご質問は、Eメール(futurevision@rotary.org)でお問い合わせいただくか、ウェブサイト(www.rotary.org/ja/fvdistrict)をご参照ください。

未来の夢計画の今後の予定。100の地区が未来の夢計画試験段階に参加している。

- **2010-11年度：**クラブは、ロータリー財団補助金の受領資格を満たすために、地区ロータリー財団委員会と協力する。資格が満たされたら、クラブと地区は補助金の申請を開始する。ロータリー財団は、試験地区とそのクラブに対して補助金の支給を開始する。
- **2011-12年度：**ロータリー財団は、試験地区とそのクラブに補助金を支給する。
- **2012-13年度：**財団は、試験地区に補助金を支給する。試験地区からのフィードバックを基に、必要に応じて補助金モデルに調整を加える。すべてのクラブが研修を受け、資格認定を得る。
- **2013-14年度：**全世界で新しい補助金の利用を開始し、従来からの財団プログラムを廃止する。

新しい補助金構成。新しい補助金モデルの下、財団は、「新地区補助金」と「グローバル補助金」の2種類の補助金を提供します。グローバル補助金には、クラブと地区が立案したプロジェクトへの補助金と、パッケージ・グラントの2つのオプションがあります。新地区補助金とグローバル補助金の授与と受諾の条件をご参照ください。



地区内における新地区補助金の申請手続きについては、地区ロータリー財団委員長に問い合わせてください。

新地区補助金は、クラブと地区が、ロータリー財団の使命に沿った特定の奉仕分野で、地元や海外の地域社会の緊要なニーズに取り組むことを可能にするものです。この補助金の管理・運営は、地区が行ないます。クラブがプロジェクトの資金を地区に要請し、地区が、財団に申請する新地区補助金の金額を決定します。地区は、毎年、一口の新地区補助金を受領する資格があり、補助金の受領後、地区がクラブに資金を支給します。

事例

地元の3つの小学校に新しい辞書を寄贈するため、クラブが3,000ドルを地区に申請する。

夏休みの短期留学プログラムに参加する地元高校生に奨学金を授与するため、クラブが2,500ドルを地区に申請し、これを授業費に充てる。

台風の被害を受けた村に、道具や食糧を提供し、現地にロータリアン3名を派遣するため、クラブが12,000ドルを地区に申請する

グローバル補助金は、財団からの大きな支援の下、長期にわたって持続可能な活動に参加する機会を提供するものです。この補助金は、財団の使命に関連する6つの重点分野のいずれかにおいて、多大な影響をもたらす持続可能で大規模なプロジェクトに資金を提供します。

- 平和と紛争予防／紛争解決
- 疾病予防と治療
- 水と衛生設備
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率向上
- 経済と地域社会の発展

クラブと地区は、重点分野の範囲内で独自のグローバル補助金プロジェクトを立ち上げることができます。または、協力組織と合同で財団が立案した長期的なプロジェクトを支援するためにパッケージ・グラントを選ぶこともできます。

クラブまたは地区が立案したグローバル補助金では、予算が少なくとも30,000米ドルのプロジェクトに対し、WF（国際財団活動資金）から最低15,000米ドルが授与されます。DDF（地区財団活動資金）に対しては100パーセント、現金拠出に対しては50パーセントが、WFから組み合わせて支給されます。グローバル補助金は、2つのクラブまたは地区（実施国協同提唱者と、実施国外の援助国協同提唱者）が提唱したものでなければなりません。実施国、援助国の双方の提唱者は、未来の夢計画の試験地区（または試験地区内のクラブ）である必要があります。

グローバル補助金の申請書を提出する前に、提唱者であるロータリアンは、活動内容と期待される成果を記述した提案書を、ロータリー財団に提出する必要があります。提案書が承認された後、クラブまたは地区は、6カ月以内にオンラインで申請書を提出することとなります。財団に提出する前に、申請書には地区ロータリー財団委員長の承認が必要です。

事例

複数のクラブが合同で、ロータリアンの医師6名とロータリアンのチームリーダー1名から成るチームをナイジェリアに派遣しようと考えています。このチームは、母子の医療について視察し、都市部および僻村部の病院で、現地の医師に新しい医療技術について研修する予定です。この旅行とクリニックの医療品の費用は、15,000ドルです。病院での研修の後、ロータリアンの医師たちは、母国のクラブの会員およびナイジェリア現地のクラブ会員たちとともに、僻村部の医療センターに母子の健康キットを配布します。このキットが正しく使用されるよう、ロータリアンの医師たちは、僻村部の医療従事者を対象に基本的な研修を行い、この費用に15,000ドルがかかります。予算が30,000ドルのプロジェクトに対し、クラブはDDFから15,000ドルを使い、ロータリー財団はWFから15,000ドルを上乗せして提供します。

あるクラブは、熱帯病の予防と治療について学ぶために海外の大学院に留学する学生のために、奨学金を提供します。学費、旅費、宿舎の費用は合計42,000ドルです。クラブは、大学が所在する地区内のクラブと協同して、合計予算42,000ドルのプロジェクトを財団に申請します。派遣地区がDDFから21,000ドルを拠出し、財団がこれに21,000ドルのWFを上乗せします。

以前にグアテマラで井戸プロジェクトを援助したことのあるクラブに、現地の人々から、地元事業を立ち上げ、維持するための研修プログラムの実施を手伝ってほしいと依頼がありました。研修資料、備品、8人のロータリアンの旅費のための費用が必要とされています。これらのロータリアンは、グアテマラで1カ月間、地域社会の人々100人に研修を提供します。また、これらのロータリアンは、マーケティング費用、商品の在庫管理、その他の関連ニーズなど、地元事業の立ち上げのための初期投資も提供します。プロジェクトの終了後には、グアテマラのロータリアンが現地事業との連絡を保ち、必要に応じて事後の視察や研修を行います。このクラブがDDFから60,000ドルを寄贈し、財団がこれに60,000ドルのWFを上乗せすることで、プロジェクトの合計資金は120,000ドルとなります。

パッケージ・グラントとは、財団とその協力組織が立案するものです。この場合、財団からのWF（国際財団活動資金）と協力組織からの資金によって必要資金の100パーセントが提供され、ロータリアンが補助金プロジェクトの実施にあたります。パッケージ・グラントの選択肢は、利用が可能になり次第、会員アクセスに掲載されることになっています。

資金管理と参加資格。全補助金の提唱者は、会計の監督責任を果たし、ロータリー財団補助金資金を適切に管理する意思を明確に示さなければなりません。資金の管理には「四つのテスト」を反映させ、以下を含めるようにします。

- プロジェクトの詳細な計画
- 必要書類と、正確かつ不備のない申請書の提出
- プロジェクトへのロータリアンの直接的な参加
- すべての財務処理における透明性の維持
- 報告書の期日通りの提出

資格を満たしたクラブは、グローバル補助金を申請することができます。資格を満たすには、クラブは以下を行なわなくてはなりません。

- 少なくとも1名の会員をクラブから、地区ロータリー財団補助金管理セミナーに派遣する。
- クラブの覚書（MOU）に署名し、その条項を順守する。
- 地区が定めたそのほかの資格要件に従う。

補助金の管理に関する情報は、補助金管理の手引きをご参照ください。

お忘れなく

資格認定に関する詳細は、www.rotary.org/ja/fvdistrictでご入手いただくか、fvqualification@rotary.orgでお問い合わせください。

ポリオ・プラス。国際ロータリーと財団が一体となって取り組むプログラム、ポリオ・プラスは、ポリオの撲滅を目標とする、ロータリーで最もよく知られているプログラムです。100万人以上の世界中のロータリアンが、ポリオ・プラスに8億米ドルの寄付を行ってきました。さらに、ロータリアンは、診療所を支援したり、予防接種のために地域社会の人々を動員したり、その他のポリオ撲滅活動に参加するなどして、地元レベルにおけるボランティアの強力なネットワークとして奉仕しています。

ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から総額3億5,500万ドルの補助金が、2度に分けてロータリーに授与されました。これを受けてロータリーは、この補助金に上乗せするための2億ドルを集めることを約束しました。4カ国を除く全世界でポリオウイルスが撲滅された現在、ポリオ・プラスに対するロータリー・クラブの活動の大部分は、「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」の達成を目指した募金活動に向けられています。

各クラブも、以下のような方法で、世界からポリオを撲滅するという目標の実現に貢献することができます。

- ロータリーの2億ドルのチャレンジに向けた募金活動を一般の人々を対象に行い、ポリオ撲滅に取り組むロータリーの活動について人々の認識を高める。
- ポリオ常在国における緊要なポリオ撲滅のニーズのために、ロータリーのチャレンジに寄付する。
- クラブ例会でポリオ撲滅を主題とするプログラムを実施する。
- ポリオのない世界が証明されるまで、クラブ会員がポリオ撲滅の現状を把握し、活動に参加するよう確認する。
- ポリオ常在国のクラブは以下のような方法で撲滅活動に貢献できます。
- 監視活動に協力するため、国別ポリオ・プラス委員長と連絡を取る。
- ポリオやその他の病気についての高い予防接種率を維持するため、地元の保健員と力を合わせる。

ロータリー平和センター。平和および紛争解決の分野に関する国際問題研究のためのロータリー・センター・プログラムは、国際関係、平和研究、紛争解決などの関連分野の修士号、あるいは平和と紛争解決の分野の専門能力開発修了証の取得を目指す人に、ロータリー平和フェローシップ（奨学金）を提供するものです。このプログラムは、試験地区とそれ以外の地区で同じ方法で運営されます。

クラブは、地区ロータリー財団委員会にロータリー平和フェローシップ候補者の申請書を提出することができます。提出の締切日に関する情報は、地区ロータリー財団委員会にお問い合わせください。ロータリー財団に申請書を提出する締切日は、7月1日必着となっています。

ロータリアンは、フェローシップ受領者の選考、オリエンテーション、受け入れに関与します。クラブは、さまざまな方法で参加することができます。

- 現在のロータリー平和フェローまたは元フェローをクラブ例会に招待し、体験について話してもらう。
- ロータリー平和フェローの候補者を地区に推薦する。
- フェローのホストまたはカウンセラーを務める。

財団学友との協力。1947年以来、118,000人以上の人々がロータリー財団プログラムの奨学金や補助金を受領しています。地元で財団プログラムに参加したことのある学友は、ロータリー財団の力強い賛同者であり、クラブに入会したり、ロータリー財団への寄付者となる可能性もあるため、学友との関係を維持することが大切です。学友はまた、以下のような方法でクラブを支援することができます。

- 他国のロータリー・クラブ同士が協同で奉仕プロジェクトを実施したり、親睦を図ったりする際の懸け橋となる。
- 財団プログラムがいかに人生を変えたか、その体験談をクラブ会員やメディアに伝える。
- ほかの人にプログラムの機会を推進する。
- 選考、オリエンテーション、受け入れについて助言する。
- クラブ会員となる。

地区会員増強委員長に連絡を取り、地元の財団学友をクラブの活動に招き、参加してもらう方法について検討してください。

シェアおよび地区財団活動資金（DDF）。シェア・システムを通じて、ロータリー財団への寄付は、新地区補助金、グローバル補助金、その他の形に姿を変えます。また、シェアを通じて、財団プログラムに関する決定手続きに世界中のロータリアンが関与することが可能になります。寄付金をどのように使用するかを決定する自由を寄付者に与えている財団は、ロータリー財団だけです。

地区内の全ロータリー・クラブから寄せられた年次プログラム基金への寄付は、毎ロータリー年度末に、次の2つの基金に分けられます。

- 50パーセントがWF（国際財団活動資金）へ
- 50パーセントがDDF（地区財団活動資金）へ

財団は、WF（国際財団活動資金）からの資金を、全ロータリー地区が利用できる世界的なプログラムのために使用します。地区は希望する財団の補助金とプログラムに充当するためDDF（地区財団活動資金）を使用します。

財団独自の資金周期では、地区からの寄付が3年後にプログラムのために使用されます。この3年周期によって、地区はプロジェクトの計画や参加者の選考のための時間が持て、財団は寄付金を投資することができます。一方、管理運営費全般と寄付増進経費は投資による収益で賄われます。

地区ロータリー財団委員会には、地区内クラブと相談の上、地区が使用できるDDFの使途を決定する責務があります。詳細については、地区ロータリー財団委員長までお問い合わせください。

ロータリー財団への寄付

ロータリー財団プログラムの財源は、世界中のロータリアンからの任意の寄付によって成り立っています。ロータリアンは、教育的、職業的、人道的プロジェクトの大きな成果を実感できたとき、より良い世界を築くにはロータリー財団への財政的な支援が不可欠だということを理解します。財団に寄せられた寄付は、年次プログラム基金、恒久基金、ポリオ・プラス基金のいずれかに指定されます。

財団へのご寄付は、RI日本事務局が用意している「寄付・送金明細書」をご使用ください。

ポリオ・プラス基金・ロータリーの2億ドルのチャレンジ。現在、ポリオとの闘いで最も懸念される課題は資金の確保です。既に莫大な資金が投入されていますが、ポリオ常在4カ国の子供たちすべてに引き続き予防接種を行っていくためには、さらなる資金が緊急に必要とされています。ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、ポリオ撲滅に対するロータリーの固い決意と、その世界的なボランティアのネットワークを高く評価し、総額3億5,500万米ドルの補助金を2度に分けてロータリーに提供しました。これを受けて、ロータリーは、2012年6月30日までに2億ドルを独自に集めることを目標として掲げました。国際ロータリーの拠出金とゲイツ財団の補助金を合わせると、「ポリオのない世界」というロータリーの最優先目標へ向けて、5億ドルを上回る資金が提供されることになります。

ロータリアンは、ポリオ撲滅のための「ロータリーの2億ドルのチャンレンジ」の達成に向けて、ポリオ・プラス基金へ寄付を行うよう奨励されています。またクラブは、ポリオ・プラスへの支援として特別な募金活動を行うよう呼びかけられています。ポリオ・プラス基金を通じて支給される補助金は、全国予防接種日や監視活動のために活用されます。

年次プログラム基金。年次プログラム基金は、ロータリー財団の補助金プログラムと活動の主な資金源です。ロータリアンは、毎年ロータリー財団へ寄付を行うよう奨励されています。以下の方法で「毎年あなたも100ドルを」推進計画を支援してください。

- ロータリー年度の早い時期に財団に寄付する。
- 毎年、すべてのクラブ会員が寄付を行うよう働きかける。
- 年次プログラム基金への寄付が、世界をより良い場所にするための財団の補助金プログラムと活動をどのように支えているかを、会員に伝える。
- ロータリー財団を支援した人々を表彰する。

恒久基金。恒久基金はロータリーの基金であり、元金には一切手をつけることなく、その収益の一部のみが財団の補助金プログラムと活動のために使われます。恒久基金へは、大口寄付、証券、遺贈、終身年金契約といったかたちで寄付することができます。多くのロータリアンは多額の寄付を恒久基金に寄せています。ロータリー平和センター・プログラムへの支援を希望するロータリアンは、恒久基金を通じてこのプログラムに寄付を行うことができます。ロータリー財団へ大口寄付を行うことができる会員をご存知の方は、地元担当のロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）またはロータリー財団地域コーディネーター補佐（RRFC補佐）までご連絡ください。

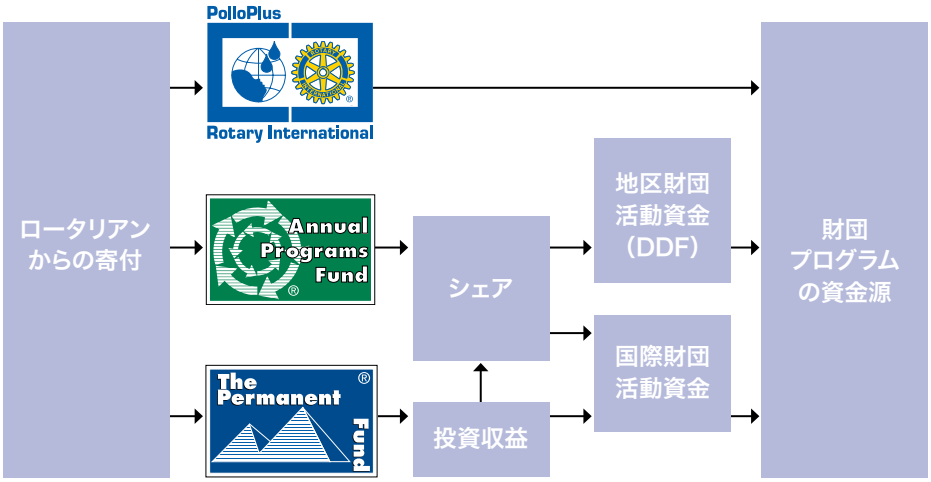
世界各地から

世界の一部では、独自の寄付・送金明細書を使用して財団に寄付を行っているクラブがあります。日本では特別な寄付申込書・送金明細書が用いられています。

お忘れなく

www.rotary.orgの「会員アクセス」を通じて、クラブ・ロータリー財団委員長がロータリー財団の各種報告書や認証報告書を閲覧できるようになりました。このアクセス権を与えるのは、クラブ会長もしくは幹事です。

ロータリー財団の資金源



地域社会からの資金。財団への寄付の大部分はロータリアンから寄せられていますが、地域社会の人々も募金活動や個人的な財政支援を通じて寄付を行っています。クラブやロータリー財団への支援を地域社会に呼びかけるための募金活動を計画するのも一案です。募金活動についての詳細は、「クラブ奉仕プロジェクト委員会の手引き」の募金活動のページをご参照ください。

寄付の認証。寄付者に対して誠意を込めて感謝の念を表すことは、将来のさらなる財政支援を促す第一歩となります。寄付者への感謝を伝える方法として、ロータリー財団では表彰や認証の機会を設け

ロータリー財団による認証・表彰

個人に対する認証・表彰	クラブに対する表彰
「財団の友」会員	100パーセント「財団の友」会員クラブのバナー（毎年贈呈）
ポール・ハリス・フェロー	「毎年あらたも100ドルを」バナー（毎年贈呈）
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	年次プログラム基金1人当たり寄付額の上位3クラブ表彰バナー（地区に毎年贈呈）
記念寄付・追悼寄付	100パーセント・ポール・ハリス・フェロー・クラブのバナー（要請に応じて進呈）
メモリアル・ポール・ハリス認証状	
アーチ C. クランフ・ソサエティ	
大口寄付者	
ベネファクター	
年次プログラム基金表彰バナー	
ロータリー財団遺贈友の会	
感謝状（企業に対して贈ることも可能です）	

認証に関する詳細は、ウェブサイト（WWW.ROTARY.ORG）で「寄付者の認証」と入力して検索してください。

第 2 章

委員会の役割と責務

クラブ・ロータリー財団委員会の役割は、社会奉仕と国際奉仕において、補助金プロジェクトと活動への参加と寄付を通じて財団を支援する計画を立て、実施することです。

以下にまとめられた委員会の各責務については、以下に詳しく説明されています。

- 次年度のクラブ財団目標を達成できるよう、委員会の目標を立てる。
- 財団に関してクラブ会員を教育し、研修を行う。
- 財団の補助金プログラムと活動への参加を呼びかけ、促進する。
- クラブと会員がロータリー財団へ寄付を行うよう呼びかける。
- 地区内クラブがロータリー財団補助金の受領資格を満たし、クラブの「覚書」に記載された補助金資金の管理システムを維持しているかどうかを確認する。

これらの責務の詳細を読み進めながら、委員会の目標、行動計画、必要なリソースについて検討してください。

お忘れなく

クラブ・ロータリー財団委員会の活動は、社会奉仕部門と国際奉仕部門に取り組むことです。

お忘れなく

特に大規模なクラブの場合には、委員会のさまざまな責務を担う小委員会を設置することもできます。

お忘れなく

補遺資料4の討議事項を検討し、地区協議会でほかのクラブの担当者と話し合います。

クラブ・ロータリー財団委員長

委員長への就任に備え、クラブ理事、クラブ会員、地区、国際ロータリーから委員長または委員会に何が期待されているのかを把握しておきましょう。役割を十分に理解するため、前任のクラブ・ロータリー財団委員長が退任する前に任務を手伝い、以下の点を確認しておくことをお勧めします。以下の点を確認しておきましょう。

- 委員長としての役割は何か。
- クラブ・ロータリー財団委員会は、財団に関して会員を教育する上で、どのように援助できるか。
- ロータリー財団資金を適切に管理するにはどうしたらよいか。
- 委員が任務を遂行できるよう、どのように援助することができるか。
- 委員会の長期目標と年度目標は何か。

委員長には、委員会が任務を効果的に遂行できるようにする責務があり、地区協議会の研修への出席に加え、以下を行う必要があります。

- 本手引き全体に目を通す。
- クラブの手続きや規定を把握するために、クラブの細則に目を通す。
- 会長エレクトと一緒に委員を選出する。
- 次年度に向けて委員を指導する。
- 必要に応じて、小委員会を設置する。
- クラブの財団目標を達成するための委員会目標を立てる。
- 新年度のコミュニケーション計画を立てる。
- 会長エレクトとともに、クラブの長期目標と年次目標を見直し、立案する。

実り多い年度を迎えるには、十分な準備を整えておくことが大切です。委員長は、就任後、以下の主な責務を担います。

- 委員会の予算を管理する。
- クラブのほかの委員会および地区の委員会と協力して、多クラブ合同の活動や計画に取り組む。
- 委員会の活動を定期的に計画し、実施する。
- 委員会目標の達成度を把握し、委員会の活動や進展について、クラブ会長、理事、クラブ全体に報告する。
- グローバル補助金の受領資格を満たすプロセスを監督する。

お忘れなく

クラブ会長はすべてのクラブ委員会の職権上のメンバーとなります。

クラブに特有の責務について、前任のクラブ・ロータリー財団委員長に確認しておきましょう。責務のリストを独自に作成することで、委員長と委員が任務に集中できるようになります。前述の主な責務は次に詳しく説明されています。

財団に関する会員の理解を深める

クラブ・ロータリー財団委員会の責務の一つは、ロータリー財団について会員を教育することです。ロータリー財団がいかに人々の生活に変化をもたらしているかを理解すれば、ロータリアンはプログラムに熱心に参加し、財政的にも支援してくれる可能性が高まります。ロータリー財団のプログラムとこれを支援する必要性についてクラブ会員を教育することで、委員会目標の達成に近づくことができるでしょう。以下のようなさまざまな方法で教育を行うことができます。

クラブのプログラム。毎年、四半期ごとに、ロータリー財団についての例会プログラムを計画するため、クラブ会長およびクラブ管理運営委員会と協力してください。このプログラムは、財団が人々の生活を助け、改善するために行っている活動を取り上げたものとします。学友を招いて体験を発表してもらうことで、財団の以下の補助金や活動への注目を集めることができます。

- ポリオ・プラス全国予防接種日
- 平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター
- ロータリー財団の補助金

例会プログラムに先立ち、財団プログラムへの参加によって、人々や地域社会をはじめ、ロータリアン、ロータリー・クラブ、学友にどのような恩恵があったかを強調するよう発表者に求めます。財団について効果的な発表を行うために、財団のビデオやパンフレットをRIカタログから入手し、活用するのも一案です。

補助金やプログラムへの参加。プロジェクトの計画やボランティア活動を通じて財団プログラムに参加するよう、クラブ会員に呼びかけましょう。ロータリー財団の影響力を理解した会員には、自分の体験や熱意をほかの会員とも分かち合うよう奨励してください。財団のプログラムに参加することは、新会員の関心をさらに引く要因ともなります。

週例ロータリー財団考。各例会の始めに「ロータリー財団考」を発表することで、さまざまな視点から見た財団についての話を会員に聞いてもらうことができます。発表に際しては、クラブ会員が「ロータリー財団考」の趣旨を十分に理解しておく必要があります。発表は、財団がいかに人々の生活を助け、改善しているかを伝える内容としましょう。

「ロータリー財団考」を話す際には、個人の体験談をはじめ、「ロータリーの友」や「ザ・ロータリアン」誌、またRIのウェブサイト（「週例ロータリー財団考」を入力して検索）が参考となるでしょう。

財団セミナー。地区ロータリー財団セミナーへ出席し、財団とその参加方法について学ぶよう、クラブ会員に働きかけます。クラブ・ロータリー財団委員会はまた、クラブ財団セミナーを開催し、クラブ会員の参加率を高め、知識や関心の度合いに応じて議題を変更することができます。議題には以下のような内容を選びます。

- 財団の概要
- クラブと地区のロータリー財団委員会の役割
- ポリオ・プラス／ロータリーの2億ドルのチャレンジ
- ロータリー財団の補助金
- 参加資格と資金管理
- 財団資金の提供

- 募金活動
- ロータリー平和センター

財団セミナーの計画を立てる際には、地区ロータリー財団セミナーの手引き（未来の夢計画試験地区用）を参照したり、地区ロータリー財団委員会やロータリー財団地域コーディネーターからのアドバイスを得ることができます。

補助金管理セミナー。補助金管理セミナーの目的は、クラブ会員が、参加資格について理解し、補助金を効果的に管理し、補助金の使途を監督できるようにすることです。このセミナーでは、ロータリー財団へのすべての寄付を管理するのに十分なシステムが備わっていることを確認するためのベストプラクティスに焦点が当てられます。クラブがロータリー財団補助金資金を受領する資格を得るには、クラブから少なくとも1名の代表がこの研修に出席し、覚書（MOU）に同意し、署名する必要があります。地区は、クラブに対し、追加の資格条件を設けることができます。例えば、新地区補助金の受領にもクラブが資格を満たす必要があるという追加条件を設けることも可能です。資金管理の手引きは、www.rotary.org/ja/fvdistrictからダウンロードしてご覧いただけます。

世界各地から

クラブはそれぞれ異なる規模であったり、独自の目標を持っているため、委員会構成は個々のクラブの状況に応じて行うことができます。

委員会

会長エレクトと協力して、欠員を埋めるために委員を選出したり、新年度に先立って計画会議を実施してください。可能であれば、継続性を図るため、委員は3年を任期として任命することとお勧めします。委員は優れたコミュニケーションの能力を備えている必要があります。新しい委員を選ぶ際は、国際的な経験や、ボランティア活動、募金活動などの経験を特に考慮に入れてください。

委員会が結成された後、新しいロータリー年度に向けて委員を研修するのは、委員長の責務です。以下のような方法で委員を研修することができます。

- 新しい委員に、クラブの長期計画に関連する委員会の活動や計画について知らせる。
- 経験のある委員に新委員を指導してもらう。
- 地区名簿を活用して、ほかのクラブの委員とコミュニケーションを図るよう奨励する。
- 委員会が活用できるリソースを紹介する。
- 委員に地区の活動と会合のリストを提供する。

お忘れなく

「クラブ・リーダーシップ・プラン」、「長期計画立案の手引き」、「効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標」など、クラブの計画を支援するさまざまな資料が用意されています。

小委員会

クラブの規模や目標に応じて、ロータリー財団委員会は、以下のような小委員会、またはクラブが決めた小委員会を設置することができます。

- 補助金小委員会
- 資金推進小委員会

大規模なクラブの場合には、このほかにも以下のような小委員会を設置する必要が生じる場合もあります。

- 年次寄付小委員会
- 新地区補助金小委員会
- グローバル補助金小委員会

- 大口寄付小委員会
- ポリオ・プラス小委員会
- ロータリー平和センター小委員会

委員の技能や関心を最大限に生かせる方法を考慮した上で任務を割り当てましょう。また、各委員が担当の仕事に責任を持って取り組み、力を尽くしてくれたことに対して感謝の意を述べるようにしてください。

目標の設定

委員長は、委員会が目標を設定し、これを達成できるよう努める責務があります。委員会の目標はクラブの長期目標と年次目標を基に設定すべきです。クラブの長期計画と、そのビジョンを実現するために委員会ができることについて検討してください。

効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標は目標設定に役立つ資料です。クラブ会長エレクトはこれを使って、各委員会とともにクラブの現状を調べ、クラブの長期目標を支える年次目標を立てることができます。「活動計画の指標」には、それぞれの推奨クラブ委員会に関する項目も設けられています。委員会が記入した「活動計画の指標」（補遺資料1をご参照ください）の内容を、地区協議会で、クラブ会長エレクトおよびほかの次期クラブ指導者とともに見直す機会がありますので、記入したこの資料を必ず持参してください。この「効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標」は、設定された目標の達成状況を把握するためにも、年度を通じてご活用いただけます。この資料を定期的に見直し、必要に応じて変更を加えるようにしてください。

効果的な目標。目標を効果的なものとするには、委員会の能力とクラブの関心が目標に正確に反映されているかを確認することが大切です。目標は以下を満たしている必要があります。

- **全員で決定したものであること**。目標設定および目標達成計画の立案に参加した人々は、その実施においても熱心に取り組みます。目標の設定にあたっては、クラブ指導者、クラブ会員、地区指導者と相談します。
- **測定可能であること**。目標は、具体的に測定できるものを選びます。
- **取り組みがいがあること**。目標は、クラブがこれまでに達成した以上に十分に意欲的なものであるべきです。
- **達成可能であること**。ロータリアンは入手可能なリソースを活用して目標を達成することができます。目標を、これまでに委員会やクラブが達成した目標と比較します。
- **時間が定められていること**。目標には、期日あるいは時間枠が含まれるべきです。

行動計画。クラブ指導者や委員と協力し、目標達成に必要とされる各段階を踏まえた行動計画を作成します。行動計画を立案する際には、以下のステップが役立つでしょう。

- 各段階の時間枠を設定する。
- 各段階の実行責任者を決める。
- 各段階および目標の進展状況と成功を測定する基準を設ける。
- 目標達成に向けて、クラブや地区、RIから入手できる資料や利用可能な手段を検討する。
- 行動を起こす前に人材、情報、資金を確保する。

- 前回の目標の成功の度合いと現在の計画を評価し、必要に応じて修正を加える。
- 目標達成に向けて確実な進展が遂げられるよう、定期的目標を評価し、必要があれば調整を加えてください。

動機を与えること。ロータリアンはボランティアであり、参加は個人の意欲によるところが大きいと覚えておくことが大切です。委員長の責務の1つに、委員の意欲を高めることがあります。活動の動機には以下のようなものがあります。

- 設定した目標が、地域社会やクラブ、地区、ロータリーのためになるという信念
- 親睦の機会
- ネットワーク（人脈）づくりの機会
- 目標は達成可能であり、プロジェクトや活動が成功するという信念
- 会員にとってやりがいのある、または会員の専門知識を生かせる課題
- 委員会の目標に向けて費やされる時間や努力に対する感謝の表明

こうした要因により、会員がロータリーへの献身を続け、クラブ活動に継続して参加しようという動機が高まります。

予算

7月1日に先立ち、委員およびクラブ会計と協力して、目標達成のために委員会が必要とする資金を決めます。この際、予定している募金活動についても考慮します。委員会に必要な資金が、クラブ予算に組み込まれていることを確認します。

委員会資金の管理、出納、報告を行い、委員会予算の状況を常に把握しておきましょう。クラブ会計と定期的に会合を持つことで、問題が生じた際に早期に対応することができます。

コミュニケーション

年度開始前に、ほかのクラブ指導者とともにコミュニケーション方法を確立し、いつ、誰に、どのような方法で連絡を取るかを決めておきましょう。この連絡には以下の関係者が含まれます。

- **委員**。委員会は定期的に会合を開き、利用可能な資料を特定し、それに目を通すほか、進行中のプロジェクトや新しい活動について話し合ったり、委員会およびクラブ目標を達成するための方策を立案したりします。
- **クラブ**。行動計画や目標に向けた進展状況を含む委員会の活動を、クラブ会長、理事会、クラブ会員に報告します。
- **その他の委員会**。1つの委員会の活動がほかの委員会にも影響することがたびたびあります。例えば、広報委員会の活動により地域社会でのロータリーの認識が高まると、会員増強委員会の勧誘活動にも効果が現れるでしょう。効果的なコミュニケーションによって、委員会は互いにプロジェクトや活動を連携して行うことができます。クラブ・ロータリー財団委員会は、クラブの財団目標を達成するため、次のクラブ委員会と協力する必要があります。

- 奉仕プロジェクト委員会（奉仕プロジェクトの資金としてロータリー財団の補助金を利用できるかを検討する）
- 広報委員会（財団のプロジェクトや会員の参加について広報する）
- クラブ管理運営委員会（四半期ごとにロータリー財団プログラムを計画し、奉仕に関する発表と寄付に対する認証を行う）
- 会員増強委員会（国際ロータリーとロータリー財団の学友との連絡を保ち、これらの学友をクラブの活動に参加させ、会員候補者として考慮する）

- **地区**。指針や情報が必要な場合、地区の担当者やガバナー補佐に連絡を取ります。
- **地域**。クラブの財団活動に関して、ロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）から支援を受けることができます。RRFCの発行するニュースレターやブログを定期的に読み、ロータリー財団に関する最新のニュースや地域内での計画を把握しておくようにしてください。

第 3 章

リソース

委員会の役割に役立つリソースが数多く用意されています。国際ロータリーの作成した情報資料、RIウェブサイト、仲間のロータリアンやRI職員からの情報をご活用ください。

お忘れなく

RIの出版物は、www.rotary.org/downloadlibraryからダウンロードするか、shop.rotary.org、shop.rotary@rotary.org、日本事務局を通じてご注文いただけます。

人材

- 地区ロータリー財団委員会：地区のロータリー財団活動全般を監督する責務を担当します。
- ポリオ・プラス委員会：ポリオ撲滅活動へのロータリーの参加に関して、国際、国内、地域、地元レベルで顧問を務める。
- ロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）：ロータリー財団全般に関して、地区とクラブを援助するために任命されたロータリアン。
  - ロータリー財団地域コーディネーター補佐（RRFC補佐）：年次寄付、大口寄付、プログラムへの参加に関して、RRFC、地区、クラブを支援します。
  - ロータリー財団学友コーディネーター（RFAC）：財団プログラムの学友とのつながりを再び築き、学友に財団の活動に参加してもらう目的で、ロータリー財団地域コーディネーター、クラブ、地区を援助する。
  - ゾーン・チャレンジ・コーディネーター：ポリオ・プラス基金およびロータリーの2億ドルのチャレンジへの募金活動に向けて、ロータリー財団地域コーディネーター、クラブ、地区を支援します。

- ロータリー財団：ロータリー財団プログラムおよび寄付増進に関与しているロータリアン、クラブ、地区に支援を提供するRI世界本部ロータリー財団、またはRI日本事務局の職員。
- ロータリー財団お問合わせセンター：ロータリー財団職員が財団に関する質問をEメール（contact.center@rotary.org）で受け付けています（英語による問い合わせのみ）。電話：1-866-976-0848（米国外から）／-8279-888-722-2220（北米用フリーダイアル）

情報資料

- End Polio Now（今こそポリオ撲滅のとき）ニュースレター：世界的なポリオ撲滅活動ならびにロータリーの2億ドルのチャレンジに向けての募金活動の現況を伝える隔月のニュースレター。
- 「未来の夢試験段階のニュースレター」：未来の夢の予定、新しい研修資料、ヒント、ベストプラクティスに関する毎月の最新情報。
- 「毎年あなたも100ドルを」クラブ・サクセス・キット（958-JA）：年次プログラム基金への寄付とプログラムへの参加を推進するにあたり、ロータリー・クラブが活用することのできるパンフレット、ステッカー、指針が収められています。
- Gift Acceptance Policy Manual（寄付受理の指針に関する手引き）：恒久基金などロータリー財団によって受理される寄付の種類の概要。
- 「効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標」のロータリー財団のページ：ロータリー財団の目標を定める際に用いる、クラブの査定や目標設定のための資料。
- ロータリーの2億ドルのチャレンジ・パンフレット（986-JA）：ポリオ撲滅に対するロータリーの懸命な取り組みについてロータリアンおよびロータリアン以外の支援者に伝えるとともに、ロータリーの募金チャレンジへの支援を呼びかけるものです。
- ロータリー財団携帯用カード（159-JA）：最新の財団の統計的な概要を記したポケット型のカード。
- 国際ロータリーとロータリー財団の年次報告（187-JA）：年末の財務データおよび卓越したプログラムの功績。
- RIウェブサイト（www.rotary.org/ja/fvclub）：財団年次報告書、財団の目標、プログラムに関する情報が掲載されています。
- www.rotary.org/ja/futurevision：未来の夢計画に関するロータリー財団からの最新情報

資金源

- 個人の寄付者または地元事業からの寄付金
- グローバル補助金と新地区補助金
- クラブの財団
- クラブの募金活動

以下の資料はロータリーのウェブサイト「www.rotary.org/ja」にも掲載されています。

補遺1：効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標のロータリー財団のページ

（検索する場合：「活動計画の指標」と入力）

補遺2：クラブの覚書（MOU）

（検索する場合：「クラブの覚書」と入力）

補遺3：グローバル補助金の業務サイクル

（検索する場合：「グローバル補助金の業務サイクル」と入力）

補遺4：地区協議会での討論事項

地区協議会に出席する前に本手引きを読み、研修に備えてください。研修では進行役が付き、以下の質問に基づいて討論が行われます。質問について考える際は、本手引きの前項を参照したり、前任や次期のクラブ指導者と話し合って意見交換を行うなどしてください。

クラブ・ロータリー財団委員会の責務は何でしょうか。また委員長の責務は何でしょうか。

ロータリー財団への寄付を、どのように会員に奨励することができるでしょうか。

ロータリー財団について会員を教育する方法にはどのようなものがありますか。

委員が任務を遂行できるよう、どのように援助することができますか。

委員会の長期目標と年度目標は何ですか。

ワークシート1：まとめ

メモ欄

役割と責務

学んだこと

これから実行すること

連絡先

ワークシート2：目標

このワークシートを用いて、3年間にわたる長期目標とそれを支える年次目標を立ててください。目標の設定には、以下を考慮に入れる必要があります。

全員で決定したもの。目標設定および目標達成計画の立案に参加した人々は、その実施においても熱心に取り組むものです。

測定可能であること。目標は、具体的に測定できるものを選びます。

取り組みがいがあること。目標は、クラブがこれまでに達成した以上に十分に意欲的なものであるべきです。

達成可能であること。ロータリアンは入手可能なリソースを活用して目標を達成することができます。

時間が定められていること。目標には、期日あるいは時間的な予定計画が含まれるべきです。

セッション4で「効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標」を用い、クラブのチームと共にこれらの目標を引き続き検討することになります。

• **長期目標（3年後のクラブの目標）：**
• **1年目の目標：**
• **2年目の目標：**
• **3年目の目標：**

ワークシート3：行動計画

目標設定ワークシートから年次目標を1つ選び、下の欄に書き出してください。次に、この目標を達成するために取るべき行動のステップを決めます。各ステップには、責任者、所要時間、進捗を測る方法、利用できるリソースを書き入れます。

年次目標：

行動のステップ	責任者	所要時間	進捗を測る方法	利用できるリソース
1.				
2.				
3.				
4.				
5.				

必要なリソース:

ワークシート4：ロータリー財団の補助金

新地区補助金とグローバル補助金の違いを確認し、グループで次のページの質問について話し合ってください。

	新地区補助金	クラブと地区が立案する グローバル補助金
財源	地区が一括して補助金を申請し(DDFの50パーセントまで)、ここからいくつかに分けてクラブのプロジェクトに資金を配分する	クラブと地区は、国際財団活動資金（WF）からの支給の下限額が15,000ドル以上、プロジェクトの総予算が30,000ドル以上のものについて申請を行う
	国際財団活動資金（WF）からの組み合わせはなし	国際財団活動資金（WF）からの組み合わせあり（DDFの場合は1対1、現金寄付に対しては0.5対1の割合）
	地区が補助金資金を管理	ロータリー財団が補助金を支給
協同提唱者	協同提唱者は必要なし。地元でも海外でも活動可能	実施国と援助国の協同提唱者が必要
範囲／ビジョン	ロータリー財団の使命（ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること）に関連するもの	重点分野に当てはまるもの: • 平和と紛争予防 • 疾病予防と治療 • 水と衛生施設 • 母子の健康 • 基本的教育と識字率向上 • 経済と地域社会の発展
	短期、1回限り、小規模	長期、維持可能、成果が測定可能
活動の種類	教育的、職業的、人道的	教育的、職業的、人道的
計画	短い計画期間	長い計画プロセス
参加	ロータリアンの積極的な参加	ロータリアンの積極的な参加

ワークシート5：ロータリー財団委員会の事例研究

次ページの表を用いて、サウス・マウンテン・ロータリー・クラブのために段階的なロータリー財団の計画を立案してください。計画を立てる際に、下記の問いについて検討してください。

サウス・マウンテン・ロータリー・クラブは、人口42,000人の町にあります。サウス・マウンテンは住宅地として栄えている地域であり、多くの小売店で賑わい、小規模な製造会社が増えつつあります。市民の多くは、人口3百万人以上の近くの都市に通勤しています。

サウス・マウンテン・ロータリー・クラブには60名の会員がいますが、皆、ロータリーの活動に時間を割くことが難しくなってきているようです。しかし、クラブは非常に積極的に地域社会で活動しています。クラブは、地元高校でインターアクト・クラブを提唱しているほか、地元の食糧バンクを支援する毎年恒例の募金活動を実施したり、世界保健の日には予防接種キャンペーンを組織するのに助力したりしています。

地元ではこのように精力的に成果を挙げている同クラブの会員ですが、ロータリー財団となると、ほとんど支援の姿勢が見られません。昨年、数人の会員が海外のクラブとの補助金活動を提案することを試みました。しかし、協同提唱クラブとのコミュニケーションがうまくいかず、提案書作成は、志半ばで中断してしまいました。また、このクラブは、地区内の全ロータリー・クラブの中で、常に寄付が最低のレベルとなっており、 4年連続して年次寄付目標を達成できませんでした。

しかし最近、ロータリー・ボランティアとして他国で奉仕してきたある会員が、ロータリー財団の奉仕がもたらす恩恵を直接体験したことから、財団に大口寄付を行いました。また別の会員は、数年前に研究グループ交換のチーム・メンバーを経験したことがきっかけとなり、クラブに入会しました。とはいえ、このような会員はまだ少数に過ぎず、クラブ会員の大半は依然として財団のことをよく理解していません。

ロータリー財団について会員を教育するために、何ができるでしょうか。

クラブにとって、どのようなリソースが役立つでしょうか。

クラブは、過去の財団との経験をどのように生かすべきでしょうか。

どうすれば財団プログラムへの参加を増やすことができるでしょうか。

年次寄付目標を達成するためにはどうすればよいでしょうか。

財団への参加と寄付の両面において、財団の学友にもっと貢献してもらうために、クラブは何をすべきでしょうか。

事例研究の行動計画

行動のステップ	責任者	所要時間	進捗を測る方法	利用できるリソース
1.				
2.				
3.				
4.				
5.				

この演習から学んだことで、クラブに生かせると思うのは、どのようなことですか。

クラブの将来を計画する際にお役立てください

クラブ・リーダーシップ・プラン
長期計画立案の手引き
効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標

3つ併せてご使用ください。ダウンロードはwww.rotary.orgから。

ROTARY INTERNATIONAL®
One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
www.rotary.org

226E-FV-JA—(910)